

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
12年8月27日

民商などの運動でつくった市健幸すまいリフォーム助成 3億の予算を使い切って来年も実施させよう!

- ◆予算の半分1億5千万円はまだ残っています。
- ◆制度を活用して仕事を取ろう! 専門業者も仲間と連携して営業で仕事を取ろう!
商工新聞3面に仕事をとった稲村屋根屋さんの談話掲載!
- ◆建設業者以外の方も、自分で使ったり、お客様にお役立ち情報として知らせて、お客様サービスに使いましょう!

四件の工事で一千万円の仕事を受注!

山潟支部で建築業を営むYさん、民商ニュースを読んで住宅リフォーム助成制度の創設を知り学習会にも意欲的に参加しました。第一次募集ではサッシとLEDへの交換工事二件を受注。続く第二次募集でもお客様へ助成制度を説明して地道に営業を重ねた結果「消費税が増税される前に自宅のリフォームをしたい。」と言うお客さんから外壁工事などを含むリフォーム工事、他一件を受注しました。一次、二次と合わせて四件で一千万円の工事を受注することが出来ましたとても喜んでいきます。

リフォーム制度と小規模工事で受注!

南浜支部のAさん(建築業)は、リフォーム助成制度が創設されるとすぐに、一件申し込みをしました。今まで行政を相手にするのは苦手だったのですが、お客様の代わり役所に出向くなどの努力をして申請が許可されました。また、小規模工事も毎年数件を受注していて「民商で作った制度で仕事がつながっている。入っていて本当に良かった」と語っています。

仲間にも知らせてみんなで活用!

横越支部の山本さんは、赤梓ニュースで助成制度が創設されたことを知り、自宅のリフォームに活用しました。三世代家族なので最高額の助成金です。施工した建築業者も制度を知らなかったようで、この後制度を活用して三件の仕事を受注したそうです。また山本さんの友人も三人がこの制度を活用してリフォームをしました。

山本さんは「住宅借入金金利の引き下げでも得をした。民商に入っていると得な情報がいっぱい」と喜んでいきます。

リフォームで長年の悩みを解決

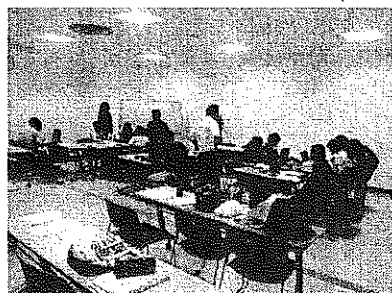
白根支部のTさん(建築)は、期待を持って開始を待っていました。しかし第一回は抽選なので「申請をしてお客がはずれたら申し訳ない」と活用をためらっていました。二回目の申請は先着順と民商ニュースで知って早速お客に声をかけました。一件は高齢者のお客が「風呂が難儀ナンさ」とこぼしていたのを聞いて脱衣場とお風呂の段差もなぐし手すりも付いたユニットバスに改造。あわせて手すりや家の中の段差解消工事もある事になりました。Tさんは二件で四五〇万円の工事を受注しました。「三世代で助成金が四十万円出ると聞いて若手も乗り気になった。台所も直したいといっているお客もいる。地元の建築業にも元気が出る。ぜひ制度を使い勝手がいい制度にして来年も続けて欲しい」と話していました。

笑い飛び交う! 『自主記帳学習会』

北東ブロック

五月から実施している「北東ブロック自主記帳学習会」も次回で第八回を迎えます。

参加されている会員さんは、昼の部・夜の部合わせて十五人程度。年代や業種は様々で、支部の垣根を越えて、和気あいあいとした雰囲気です。和気あいで学習を進めてきました。

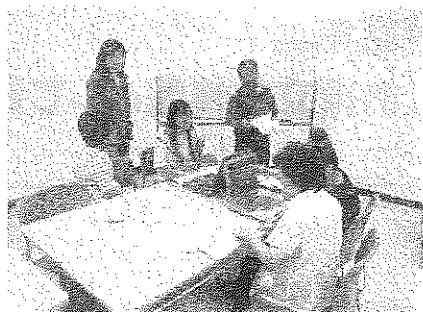


先月行われた新潟民商第六五回定期総会では、参加者代表として石山支部の大森賢さん（燃料販売）が、学習会での感想を発言されました。

「自主計算・記帳は商売の基本だが、なかなか一人では勉強できないもの。この学習会に参加することで、他の参加されている会員さんと顔見知りになり、自分の記帳のことや商売についてのことをお互いに話しをした。分からない問題にぶち当たった時もお互いに相談し合いながらやると理解できて楽しい。仲間と一緒に学ぶことが喜びになっている。また、若い人たちとも話しができるので元気が出る」と発言されました。

新人事務局員の用意した資料

を元に学習を進めています。参加している会員さんの中にはパソコンに触るのが初めての人もいますし、もちろん慣れている人もいます。逆にパソコンは不慣れでも記帳には自信のある人もいます。お互いに出来ないところを補い合いながら、一週間に一度集まって学び合っています。時には話しが弾んで冗談を言い合いながら笑いが飛び交う、そんな学習会です。



まだ一度も参加されていない方も大歓迎です。ぜひ一度「北東ブロック自主記帳学習会」において下さい！
毎月第一・第三木曜日 東区プラザにて、昼の部 午後二時～四時、夜の部 午後七時～九時に行っています。日時に変更がある場合がありますので、ご参加の際は事務所までご連絡ください。

第12回全国業者青年交流会 企画の一部

第十二回全国業者青年交流会参加に向けて

青年部役員が役員会訪問

新潟民商青年部では、先月来各支部の役員会をまわって、九月十六日、十七日両日宮城県松島で開かれる「全国業者青年交流会2012」への参加を呼び掛けています。

去る八月一〇日の太平支部役員会には副部長の長崎さん・黒井さんが訪れ、交流会の意義と支部の対象者の掘り起こしを訴えました。

「多業種交流を通じて経営手腕を磨く」

長崎さんは、商工新聞の記事を読み合せ、「全国から多業種の人が五〇〇人規模で集まる交流会」であること、「自社だけでは力不足の中小零細業者が経営を伸ばすためには、他社の経験や協力を得ることが大事であり、年上の社長とも対等に話せるようにならないといけない。そのための絶好の機会だ」と強調しました。

出席した支部役員からは、「息子に話してもなかなか関心に向けてくれない」「そういう方面は向きでない」などの消極的な意見もありましたが、「訪ねてきてもらって、直接話してもらった方がいい」「支部には、ほかに対象者はまだいる」「まずはどんなことに興味があるか話を聴いた方がいい」などの意見も出されました。

そして、「とにかく対象者に当たろう」と言うことになりました。

第1日 全体会企画(16日)

●パネルディスカッション

「地域の再生を若い力で一大震災を越えて」
被災地の業者青年、吉田敬一駒澤大学教授と共に「地域の再生」を考える

●大名刺交換会

全国のさまざまな業種の仲間との出会いの場。名刺を必ずご持参下さい!

第2日 分科会企画(17日)

- | | |
|------------|---------------------|
| ①税金・税制 | ⑧製造・ものづくり |
| ②金融・資金繰り | ⑨再生可能エネルギーと循環型地域経済 |
| ③恋愛・結婚・家庭 | ⑩民商・全商連の歩み |
| ④事業継承 | ⑪IT活用術 |
| ⑤平和でこそ商売繁盛 | ⑫営業に活かす法律 |
| ⑥小売・サービス | ⑬震災復興の今とこれから(移動分科会) |
| ⑦建設 | |